

# 第7回関東甲信越ブロック認知症グループホーム 実践発表会報告書

○期日：令和元年11月8日（金） 10:00～16:30

○テーマ：「住み慣れた地域で自分らしく暮らす！」を支えるグループホーム

○会場：山梨県立図書館多目的ホール（甲府駅北口）

○後援：山梨県、甲府市、山梨県社会福祉協議会、山梨県認知症高齢者グループホーム協会、一般社団法人山梨県介護支援専門員協会、甲府市介護サービス事業者連絡協議会

○参加人数：138名（非会員を含む。）

○開会式：開会挨拶 実行委員長（山梨県支部長） 笹本憲男  
挨拶 関東甲信越ブロック長 宮長定男  
来賓 甲府市長 樋口雄一氏（祝辞）  
山梨県福祉保健部次長 成島春仁氏

○記念講演：山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科講師  
高木寛之氏  
演題「地域共生社会の実現に向けた地域づくりと  
認知症グループホームの役割」

○実践発表：座長：日本認知症グループホーム協会 関東甲信越ブロック長  
宮長定男  
コメンテーター：社会福祉法人桜井の里福祉会  
専務理事・総合施設長 佐々木勝則氏

発表者：グループホームだいにち（新潟県） 木藤 文江  
グループホーム寿限無（東京都） 松原 ひとみ  
愛の家グループホーム甲府住吉（山梨県） 米長 綾  
グループホームおおぞら（栃木県） 平野 正明  
グループホームフォーシーズン（群馬県） 高井 美玲  
あすなろホーム北本（埼玉県） 秋山 果織  
グループホーム助さん格さん（東京都） 西村 由起  
グループホームおおくにの家（山梨県） 芦川 聡宏  
グループホーム谷津苑（千葉県） 田邊 恒一  
（以上9名。13時～16時20分）

○閉会式：挨拶 神奈川県副支部長 小澤ミサヲ氏（16時30分終了）

○情報交換会：参加者30名（17時15分～19時15分）

○協賛：医療法人社団永生会  
有限会社王若  
株式会社クスリのサンロード  
社会福祉法人さくら会  
日清医療食品株式会社  
日本認知症グループホーム協会グループホームマッチング事業  
株式会社やさしい手甲府  
カミ商事株式会社  
社会福祉法人芳寿会  
有限会社ウェルフェア  
学校法人健康科学大学  
株式会社サンハート  
NPO法人ふるさと  
メディカルケア・サービス株式会社  
医療法人笹本会  
社会福祉法人寿の家  
社会福祉法人笹の葉会  
フランスベッド株式会社  
キングランメディケア株式会社  
株式会社いうら  
パラマウントベッド株式会社  
公益社団法人日本認知症グループホーム協会福岡県支部

○収支決算：別紙1のとおり

○アンケート結果：別紙2のとおり

## 収支決算報告

収入

単位：円

項目	金額	備考
前大会繰越金（茨城より）	79,555	
参加費	126,000	会員 1,000×123 人 非会員 1,500×2 人
協賛広告	185,000	20,000×1 件 10,000×12 件 5,000×9 件
弁当代自己負担分	5,500	1,100×5 人
情報交換会費	120,000	4,000×30 人
計	516,055	

支出

項目	金額	備考
謝金	33,411	講師（税込）
交通費	40,190	講師、コメンテーター
会場等借上費	26,810	多目的ホール、交流ルーム、駐車場
会議費	54,950	実行委員会・講師等茶、 発表者・実行委員・スタッフ・自己負担弁当茶
抄録冊子印刷費	68,200	冊子 200 部
案内チラシデザイン	15,000	抄録冊子表紙共用
看板（ヨコ幕）、花	33,200	発表会場正面
郵送・通信費	6,520	協賛企業等資料送付
消耗什器備品	19,748	胸花、ベル、名札、用紙等
情報交換会費	132,540	レストラン Barolo
雑費	880	振込手数料等
計	431,449	

差引

516,055円 - 431,449円 = 84,606円

※ 次期大会（神奈川県）へ繰り越します。

# アンケート調査結果

○回答者数 138名中 45名（32.6%）

○概要

## 1. お客様情報

性別

男性	22	48.9%
女性	23	51.1%

お住まい

茨城	0	0.0%
栃木	3	6.7%
群馬	2	4.4%
埼玉	0	0.0%
千葉	0	0.0%
東京	8	17.8%
神奈川	6	13.3%
新潟	4	8.9%
山梨	22	48.9%

## 2. イベントについて

参加のきっかけ

協会 HP	0	0.0%
支部から	26	57.8%
知人	1	2.2%
その他	18	40.0%

記念講演

大変満足	17	37.8%
満足	27	60.0%
普通	1	2.2%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%

実践発表

大変満足	17	37.8%
満足	24	53.3%
普通	4	8.9%
不満	0	0.0%
大変不満	0	0.0%

### 総合的な満足度

大変満足	18	40.0%
満足	21	46.7%
普通	5	11.1%
不満	1	2.2%
大変不満	0	0.0%

### スタッフの対応

大変満足	16	35.5%
満足	21	46.7%
普通	7	15.6%
不満	1	2.2%
大変不満	0	0.0%

## 3. 感想・ご意見

- 支部長をはじめ山梨県のスタッフの方々、ありがとうございました。
- 勉強になり、楽しかったです。
- 準備おつかれさまでした。ありがとうございます。
- 記録の電子化については当施設も早急に取り組むべき課題ですが、あおぞら様の発表はとても参考になりました。また寿限無様の取組みは高木先生の講演にもあったように、グループホームが地域社会に積極的に関わるということも実行されており、素晴らしい取り組みと感じました。
- 高木先生の記念講演の内容が時宜にかなっており、とても良いと感じました。また、実践発表の内容もなかなかバランスのとれたものだと思います。まとめやパワポの表現が上達すればさらに良くなりますね。
- これからの世の中、犯罪防止も含めて、地域交流は必要不可欠で、外国人スタッフが仲間として働くのも当たり前で、地域の中に、GHがあるという事が当たり前のように認知され、利用者様が生活する場で、町のホットとする拠点に近づくといいなと思いました。
- 他のGHの発表を興味深く拝聴できたことは有意義でした。
- 色々な意見が聞けて良かったと思う。職場に持ち帰り、行ってきたいと思う。
- 改めて、地域とのつながりが大切なんだな、と思いました。福祉と協力する民間企業ももっと増えてビジネスチャンスのアピールできる世の中になるといいなと思いました。
- 各事業所の生の声やとりくみを聞くことができ、とても有意義であった。特に、「食」、「看取り」をテーマとした発表は、関心を持てた。
- GH大会（編集注：全国大会？）の発表場面よりも身近なところで発表者さんとより身近に聞けるので良かったです。ブロックの発表会は初めて参加しました。意見も出しやすく、気軽に聞ける、発表者より身近になり、共に働く者同士の共通感を感じることができました。同じ方向に向かって働いているのだなあ、と思いました。ありがとうございました。明日からも頑張ります。

- 同じ仕事をしている仲間の方たちが、利用者様のために考え、実行していることに感動すら覚えます。何をするかを考え、行動する事は勇気がいるし、苦勞に感じることもたくさんおありだと思います。自分の仕事の中で施設に提案し、出来る事からしていけたら、と心から思いました。今していることで満足せず、施設を良くしていくためには？、と自分に問いかけながら仕事をしていきます。
- 各施設の取組みがわかり、参考になる事例も多く、非常に良かったです。
- すばらしい一日でした。
- 記録の電子化は多少のリスクがあっても必要かなと思っていますが、やはりデータの流出が心配。
- 食のニーズの話は色々大変だったと思いました。別のところにも効果があったのでは。
- 日頃の仕事を実践発表することは大切なことだと思う。
- 有意義な発表が聞けてとても良かったです。
- セミナーにおいて机が無かったのでメモを取るのに不便でした。次期開催に関しては改善して欲しい。
- プロジェクターの事前確認が出来ていなかった。
- 質疑応答がカットされた。

(編集注：実は、9：30の時点では正常に作動することを確認していました。図書館の技術職の方も、突然で初めての事態で原因がわからず、復旧は午後となりました。質疑応答の時間も、故障対応のため確保できず、ご期待に沿えなかった事をお詫び申し上げます。)
- 記念講演で、ボランティアに興味を持ち聞くことが出来た。この講演を聴くまではボランティアに重点を置いていなかったが、私の事業所でも取組みをもう一度見直したいと思った。
- スライドのピントが合っていないのか、文字が読みにくく、残念でした。会場が素敵な図書館で良かったです。駅の近くで助かりました。休憩時間がしっかりとあってリセットでき、集中して聴く事ができました。
- 記念講演で、自らのGHについて考え、取り入れられることがいくつかあり、実践につなげていきたいと思いました。
- 実践発表において、ほとんどの取組みがとても参考になりました。多くの気づきができ、自分の部署に持ち帰り、取り入れられることを実践していきたいと思います。
- 会場（県立図書館）がとても良かったです。午後から暖房が入っていましたが、午前、少し寒く感じました。
- いろんな方のプレゼン発表、参考になりました。中でも「食のニーズから地域へ」が印象に残っています。
- 色々な分野での発表であり、とても参考になりました。少しずつでも実践していきたいと思います。
- 多種多様な意見が聞けて良かった。
- 参考になったと同時に刺激となった。

- どのホームも、「その人らしさ」を追求しながら頑張っていると思いました。
- 講演では利用者本人や家族を多くの点で支えられるよう、各専門職が連携を取りやすいよう、関わっていきたいと思いました。発表ではニーズの引き出し方の参考になりました。皆さんと一緒に「利用者様の幸せが皆の幸せとなる」という思いで前を向いて頑張ろうと思いました。ありがとうございました。
- 各事業所が、住み慣れた地域で、地域との関わりをどのようにしていくか、常に考えていた。介護保険で「自立支援」が言われる中で、在宅、GH の施設において地域で「暮らす」をこれからも考えていけると「本人らしさ」が引き出せると改めて思いました。
- スライドの不備等、暗い所での高木先生の講演、ライトをつけるなどの気遣いがあっても良かったのではないのでしょうか。講演終了時にも不備があったことには何も触れられなかった。
- 色々なグループホームでの取り組みを知ることができとても勉強になりました。事業所によって特色もあり有意義な時間となりました。スタッフの対応に不満はなく、会場が狭いと感じました。
- タブレットを使っでの取り組みに興味を持たれている方が多いと感じました。それだけ業務が大変なのだと思います。
- 様々な事業所の発表を聞いて、すごく勉強になりました。
- 様々な取り組み、アイデアが聞けて参考になりました。少し字が小さく、見えづらさは改善して頂きたいです。
- 開催時間を少し短縮して欲しいです。事例は特に長く感じました。会場内の集中力が欠けているのも気になりました。
- 話している内容が分かりやすかった。
- 講演会に関しては普段の介護の現場で働く者に対しては持ちえない視点で様々な話をしてくださり、為になる事がありました。発表に関しては、それぞれ個性があり、楽しめました。
- 会場が暑く、たまらない。もっと広い会場が良かった。

#### 4. 今後興味のあるセミナー内容

- 外国人スタッフの受け入れに伴う苦労話
- 何にでも興味あります
- 看取り
- 認知症のセミナー
- マニュアル作成、書式電子化等
- 少ないスタッフで本来の GH を運営していくにはどのような資源を取り入れていくのか、またその例があれば聞きたい
- GH における外国人材の活用に関するテーマ

- 災害等に関するテーマ
- 仕事の効率化（生産性向上）
- 外国人の受け入れについて
- H28 から技能実習生に介護職員が追加されたこともあり、外国人スタッフの受け入れに当たっての制度や具体的支援等について
- 介護現場における働き方改革について
- 認知症症状と精神症状を併せ持つ方のケアと医療について
- グレーゾーンへの対応
- 認知症に特化したより高度なセミナーを聞いてみたい